

## 新年のご挨拶 目黒ユネスコ協会 会長 爲季 繁



令和7年・2025年、新年あけましておめでとうございます。みなさまおそろいでお健やかに新年を迎えられたことと存じます。新しい年がみなさまにとって、より良い年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

目黒ユネスコ協会は、昨年、創立70周年を迎え、10月13日に会員みなさまはじめ、関係機関の方々をお迎えして、ささやかながら記念コンサートや、記念式典を開催致しました。皆様のご支援ご協力によりまして無事・成功裡に挙行することが出来ました。

一区切りの70年が過ぎ、今日から71年に向かって新たな第一歩を踏み出すのかと考えますと、この新年はひときわ感慨深いものに思えます。

今日世界では、ウクライナ戦争がまもなく3年を迎えます。さらにパレスチナのガザ地区をめぐる紛争はいまだ収束に至っておりません。誠に悲しく残念なことであり、一日も早い停戦と平和の回復を願わずにはいられません。パレスチナ過激派を支援してきたレバノンの過激派ヒズボラ

とイスラエルの間で一時的に停戦が成立していますが、これで収まるものなのか。また、隣国のシリアで反政府勢力が実権を握り、アサド大統領がロシアに亡命するなど、中東における情勢を不安視する声もあります。その他、欧米やアジアの諸国でも社会状況の変化の兆しが見られます。

世界平和への貢献を目指す目黒ユネスコ協会としては、ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心に平和のとりでを築かなければならない」の言葉が、本当に大事であると実感としてかみしめています。

みなさま、今年もこの言葉を胸に、当協会の目的に賛同された新入会員もお迎えして、みんなで協会の目的である世界平和への貢献と地域文化の発展に向かって、従来からの継続活動に加え、現在にマッチした新たな活動にも積極的に取り組んで行こうではありませんか。

令和7年の年頭にあたり、本年が、会員・役員のみなさまとともに、明るく、そして楽しく活動ができる良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

### ボランティアのための日本語教育研修講座

講師：関 恵美子氏・佐藤 ひろの氏  
にほんごの会企業組合

主催：目黒区教育委員会 主管：NPO法人目黒ユネスコ協会 2024年9月4日～12月11日 参加：33名



今年度から日本語学校教師には、国家資格取得という厳しい条件が加えられた。その一方地域で開いている多くの日本語支援グループでは、ボランティアに対してそれ程厳しい資格は求められていない。とは言え、ボランティアとして支援に当たる場合には、日本語を母語としない学習者に、どのような説明をしたら分かりやすいかを心得ていることは、とても大切なことだ。本講座は、この様な観点から開講している。今回の講座には、既にボランティア団体で日本語支援活動をしている方、全く経験のない方と募集定員を超える33名が参加された。12回の指導法講義受講、工夫を凝らしての実習を経験し、緊張あり笑いありのとても和やかな講座となった。受託事業としての15回の講座では、初級日本語の半分ほどの指導法講座に留まる為、今年度は本講座終了後、目黒区国際交流協会と目黒ユネスコ協会共催として、引き続き10回の講座開講を予定している。このような講座を受講した方々が、在住外国人数11,000人を超える目黒区や、それぞれの地域でボランティアとして、今後活躍なさることを期待している。

日本語教育事業担当 加藤 光子

## 目黒ユネスコ国際交流ひろば 日帰りバスツアー 長瀬と秩父散策

主催:目黒区教育委員会 主管:NPO 法人目黒ユネスコ協会

日時:2024年12月6日(金)8:30~19:00 参加:74名 内外国人:32名

目黒川船入場公園を出発してから2時間余り、降り立った所は、長瀬・岩畳。足元に連なり広がる岩、向こう岸の縞模様に見える岩と赤や黄にそまった木々が川面に

映る・・・その素晴らしい景色と澄んだ空気は、バスでの移動の疲れを吹き飛ばすものでした。皆さん、足元に気を付けながら、岩の上を歩いたり、座ったり・・・思い思いにゆったりと自然を味わっていました。

昼食は日本食の鮎料理でした。その後は、秩父まつ



り会館にて展示室の、江戸時代のものを復元したという屋台・笠鉾を鑑賞、その大きさと豪華さに圧倒され、3Dシアターで、それらを曳き回す人々の熱気を体感することができました。夜祭りは12月2,3日でしたが、6日までは大祭り期間中ということで、秩父神社ではお神楽がとり行われており、短時間でしたが



観ることができました。ユネスコ無形文化遺産に登録されている「秩父祭りの屋台行事と神楽」を有するこの地の文化と暮らしを伺い知ることが出来ました。

その次は、ちちぶ銘仙館へ。秩父銘仙は、国の伝統文化財に指定されており、その特徴は、玉虫色に光る



表裏のない絹の平織物である、と説明を受けました。建物は昭和5年に建築されたという当時の特徴的な建築で、国の有形文化財に登録されているそうです。

銘仙が仕上がるまでの工程別に展示室があり、染めから織りまでをみることができました。仕上げられた羽織の試着もできて、記念に写真を撮る参加者の姿もありました。二度の戦争を生き延びた銘仙の技術ですが、昨



今では着物の需要も少なくなり、今では秩父銘仙を生産しているのは6軒だけだそうです。

戦争中は軍需品としてパラシュートやゲートルを作っていたということ、また当時の日本政府は秩父銘仙で作った黒紋付をヒトラーに送ったこと、その返礼としてクリスタルの皿を受け取ったそうです。

帰路では、しばしお買い物休憩、パンや豆腐製品をおみやげにしたり、味わったりなどの時間は、たくさん見聞きたこの日の最後の貴重な息抜きとなりました。秩父の自然、文化、工芸と多くを見聞することで時代の変化にも意識を向けることが出来た一日でした。

交流 鈴木 やよい

### ■書きそんじハガキ回収キャンペーン ～ユネスコ世界寺子屋運動にご協力を～ 期間：2025年1月16日(木)～2月5日(水)

目黒区各施設・区立小中学校・目黒ユネスコ事務局に設置する回収箱に入れてください。  
回収するもの：書きそんじハガキ、未使用切手、未使用テレフォンカードやQUOカード等  
ハガキは切手に換え、テレフォンカード等は現金化して、日本ユネスコ協会連盟の世界寺子屋運動に寄付いたします。ご協力をお願いいたします。(チラシ参照)

支援活動 ウクライナ支援ミサガ募金、JIM-NET チョコ募金(イラク医療支援募金)  
難病支援(脊髄バンク)、世界寺子屋運動支援(書きそんじハガキ回収)、  
スカラシップ支援(タイ中学生2名)、千羽鶴贈呈(原爆の像/広島) 他



## ユネスコ文化講座 2 改めて考えよう 男女平等は誰のため？ ～NHKドラマ「虎に翼」を素材に～

講師：浅倉 むつ子氏 早稲田大学名誉教授 国際女性の地位協会共同代表  
女性差別撤廃条約実現アクション共同代表

主催：目黒区教育委員会 主管：NPO 法人目黒ユネスコ協会

日時：2024年12月1日(日)14:00～16:00 会場：中目黒 GT プラザホール 参加 34名



爲季会長の挨拶と講師紹介後、講師浅倉むつ子氏(写真中央)は、人気のNHK朝ドラ「虎に翼」(付記

参照)を素材に「日本の男女平等」について、法律家の視点から読み解きます、と自己紹介された。

明治時代から、戦後40年の1985年ジェンダー元年といわれた時代、そして現代まで、男女平等への道のりを、具体的な例を挙げて語られた。

「以下概要」

明治時代の法律＝近代法では、身分差が無くなった代わりに性差が浮上した。

人妻には姦通罪が適用されたが夫は相手が人妻でなければお咎め無し。結婚年齢は男性は18歳、女性は16歳とし、妻は無能力者で、学問はいらない。妻は夫に尽くす人として家計を守り、たとえ夫からのDV被害者であっても夫の望まない離婚は認められない。等々、怖いお話が続いた。

敗戦後1946年日本国憲法公布、法の下での平等、人は個人として尊重される、婚姻は両性の合意のみに基づいて成立、夫婦同等の権利、が認められた。しかし男女別の婚姻適齢、女性のみ再婚禁止期間(6カ月)有、夫婦同氏原則は残った。

また男女における賃金格差。同期同学歴入社と同僚より女性は昇給昇格が遅い。

しかし遺族厚生年金や、遺族補償年金については、

反対に、被保険者が女性＝夫を扶養している妻の死亡の場合、女性の遺族には年金が支給されない。これは遺族である男性に対する差別である。

現在は選択的夫婦別姓を求める声大きい。社会的実績や信用の断絶。改姓する側は(98%は夫の姓を名乗る)、夫の家に入るような違和感。結婚・離婚の事実が周知され、プライバシーの公表が強制される。妻の姓を選択する夫婦への偏見、等々。

日本におけるジェンダーギャップ指数は(2024年6月現在146か国中)118位だ。

日本は8つの国際人権条約(人権差別撤廃条約、自由権規約、社会規約、女性差別撤廃条約、拷問禁止条約、児童の権利条約、強制失踪条約、障害者権利条約)を批准している先進国だ。

しかし女性差別撤廃条約の選択議定書の批准(＝個人通報制度)がまだされていない。批准すれば、国連に個人通報が出来、権利を侵害された個人・集団が救済を申し立てることが出来る。差別があったと認められると、「調査制度」が作動し、国に対して「見解・勧告」を出す。締約国は6か月以内に回答書を提出しなければならない。そうなれば、日本の司法も変わり、男女平等を実現するための大きな推進力となるだろう。

もっと日本を人権が尊重される国にしたい！と結ばれた。

研修 齊藤 眞澄



### TEATIME JIM-NET チョコ募金

子どもたちの命をつなぐ支援活動

(イラク医療支援募金)

小児がん支援、シリア難民支援、福島支援(放射能から子どもを守る活動支援)等。チョコ募金のお礼にチョコを贈呈。

※問合せ：事務局(望月)まで

付記 NHK 朝ドラ「虎に翼」主人公のモデルは三淵嘉子氏、明治大学法学部本科卒業後「高等文官試験司法科」に合格した女性3名の1人。弁護士。その後、結婚・出産・夫の戦死・再婚と、波乱万丈の人生。司法界でも男女不平等の様々な問題点に、「はて」と素朴な問題提起を視聴者に投げかけ、高視聴率で人気のドラマだった。

## ■新年会のお誘い

2025年1月18日(土)13:30~15:30  
目黒区役所 1F レストラン  
参加費:500円(軽食代含む)  
参加申込:協会宛(TEL・FAX・e-mail)

■書きそんじハガキ回収キャンペーン  
～ユネスコ世界寺子屋運動にご協力を～

期間:2025年1月16日(木)～2月5日(水)  
目黒区各施設・区立小中学校・目黒ユ事務所の回収箱に。  
日本ユネスコ協会連盟の世界寺子屋運動に寄付します。

## ★美術教室「陶芸」 区報1月15日号

2025年2月7日～5回 会場:紅椿窯  
・講師 安原喜彦氏 往復ハガキで申込。20名。  
締切:1月25日。応募多数の場合は抽選になります。

## ●都ユ連研修会

戦後80年、「平和」と「これからのユネスコ活動」を考える  
2025年2月23日(日) 13時～17時  
杉並区阿佐谷地域区民センター \*グループ討議  
詳細案内&参加申込:事務局(齊藤)まで。

★「めぐろユネスコチャンネル」  
YouTube からのご案内★

ユネスコ青少年フェスタを YouTube で、1/20以降随時  
公開予定。各地の小中学生による SDGsの取り組みや、イ  
ンドネシア・ネパールの文化等紹介。目黒ユネスコ協会 HP



## ★ユネスコ文化講座 3 区報12月15日号

受託 ユネスコ文化講座 3  
「心の中に平和のとりでを築く」とは？  
身近なことから平和を考えてみませんか。  
講師:川上 千春氏  
日本ユネスコ協会連盟 元事務局長  
日程:1月26日(日) 14:00～16:00  
会場: 中目黒 GT プラザホール  
定員:80名(先着) 参加費:無料  
申込期間:12月15日～1月20日  
申込方法:講座名「1月26日文化講座 3」、  
氏名・同伴者名、住所・電話番号を明記。  
目黒ユ協会 HP の申し込みフォーム、FAX で。  
★共通/対象:目黒区在住・在勤・在学の方優先。  
\*詳細は目黒ユネスコ協会 HP 参照。

## 1・2月以降の予定

- ▲1/9(木)日本語教室冬期開始
- 1/15(水)発送連絡会
- 1/18(土)新年会
- ★1/26(日)文化講座 3  
「心の中に平和の砦を築く」とは？
- ★2/7(金)美術教室「陶芸」
- 2/23(日祝)都ユ連研修会(阿佐ヶ谷会場)
- 自主語学教室 6 講座  
(仏1・英1・独1・伊1・中1)
- 事務局(月-金 13:00～16:00)



- 目黒ユネスコ協会主催
- 目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業
- ▲目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業
- ★目黒教育委員会からの受託事業



最新情報は HP からどうぞ

## ■新入会員 どうぞよろしく(敬称略)

- ◇ 岩崎 ケイ子
- ◇ 会員募集中◇ 趣旨に賛同される方の入会  
を歓迎いたします。 問合せ:事務局(久富)

**編集後記** 日本の「伝統的酒造り」ユネスコの無形文化遺産に登録へ 昨年1月、UNESCO 無形文化遺産登録を目指す「日本酒の文化とその魅力について」の文化講座を開催、朝早くにも関わらず大盛況の講座となった。500年以上前に原型が確立した日本の「伝統的酒造り」は、米や麦などを蒸す、こうじを作る、もろみを発酵させるなど、伝統的に培われてきた技術が各地の風土に応じて発展し、自然や気候と深く結びつきながら伝承されてきた。またその酒は儀式や祭礼行事などにも使われ、日本文化で不可欠な役割を果たしてきた。しかし近年、日本酒は海外で評価が高まっている一方、酒蔵が減り、国内では消費量や製造量も減少傾向にある。今回の無形文化遺産の登録が関心を持つきっかけになれば、また伝統の保護に繋がることを期待したい。 山田 香代

